



濃南小学校

やさしく・かしこく・たくましく 仁・智・勇

濃南小学校がスタートして3年目となりました。地域の皆さんのおかげで、ふるさとを大切に子どもたちが育ちつつあります。今後さらに地域に根ざした人材を育てるために、小・中学校が連携し9年間を見通した教育の推進を図って取り組みをしています。

今年度より本格的に、「学習」「生活」の両面からの連携がスタートしました。9月には合同で「濃南小中団結運動会」を実施したほか、「合唱交流会」、「読み聞かせ」、「あいさつ運動」も行いました。

また、小・中学校の壁を越えて、兼務教諭による学習指導も行っています。中学校からは小学5・6年生の「理科」「音楽」「体育」「外国語活動」の指導を、小学校からは「数学」、特別支援教育「英語」の指導を行っています。

今後も濃南地区の豊かな自然、心温かな人々と関わりながら、多くの体験を通じて濃南の良さを発見し、「ふるさと濃南」を大切に子どもを育てたいと思います。



兼務教諭による授業



合唱交流会



合同運動会



読み聞かせ



給食センター掲示板

給食センター(☎54 6195)

1月24日~30日は全国学校給食週間

これは、学校給食の意義や役割について理解と関心を高める週間です。

最近の給食を見て「学校給食の献立も、昔と比べるとずいぶん変わったなあ」と感じる方も多いのではないのでしょうか？当時の代表的な献立を一例に、学校給食の歴史を紹介します。

昔の学校給食

主に栄養補給を目的とした給食でした。



明治22年 日本初の給食
おにぎり・焼き魚・漬物

山形県の私立忠愛小学校で、お弁当を持ってこられない子どものために食事を提供したのが給食の始まり。



昭和30年代
コッペパン・カレーシチュー
・脱脂粉乳



戦争が終わり、子どもたちの栄養改善のために、支援物資による学校給食が全国で開始。

現在の学校給食

子どもたちの食習慣の乱れ、偏った食事による肥満や生活習慣病の増加が心配されることから、食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けるための「生きた教材」としての役割を担っています。



鶴里町柿野産のお米を使用しました



11月24日<和食の日>の献立
和食の推奨と、地産地消をテーマにした献立です

~今年の給食週間の予定~

- ▶ スポーツ姉妹都市「焼津市」のある静岡県産の料理
- ▶ 昔の学校給食メニュー
- ▶ 土岐市産米や岐阜県産食材を使ったメニュー
- ▶ 東濃地区の郷土料理「五平餅」など